資料１-１

第１回地域医療構想・医療計画策定部会で委員から提出された御意見と御意見への回答【西三河北部医療圏】

医療計画（圏域項目）	御意見	回答
１ 地域の概況 （１）人口 （２）将来推計人口 （３）外国人割合 （４）人口動態 （５）主な死因別死亡数、率 （６）住民の受療状況	なし	
２ 保健・医療施設	豊田市には豊田市こども発達センター のぞみ診療所がありますが現行１８歳までの施設です。よって、１９歳以上の成人に対しての障がい者の施設がありませんので検討課題として必要があります。	御意見いただいた内容は障害福祉施策と大きく関わってきますので、福祉局に内容を伝えることとし、今回の医療計画の中間見直しとしての修正は控えさせていただきます。
３ 圏域の医療提供体制 （１）がん対策		
（２）脳卒中対策		
（３）心筋梗塞等の心血管疾患対策		
（４）糖尿病対策	医歯薬連携による糖尿病重症化予防事業による、医科との連携強化、知識を向上するための共同講習と連携の具体案の周知が必要です。	医歯薬連携による糖尿病重症化予防事業は全県下で取組んでおりますので、「本県では医歯薬連携プログラムの実施について市町村の支援を行っている」旨を追記したいと思います。
（５）精神保健医療対策	なし	
（６）救急医療対策	「当医療圏では救急車の受入体制が良く、お断り率が極めて少ない地域となっている」旨をできれば実データを添えて追記してはどうか。	御意見いただいた「お断り率」のデータが確認できませんので、救急搬送困難事案（医療機関への受入れ問い合わせ4回以上かつ現場滞在時間30分以上）などのデータを医療圏として把握できるか等を検討していきたいと思います。
	「とよた急病・子育てコール２４」は令和６年度をもって、チャットボット健康・医療相談を終了しました。令和７年度から新たに、LINEでの救急医療・育児相談（日本語のみ対応）と、２２か国の外国語による電話相談に対応しています。	御意見のとおり、修正いたします。
（７）災害医療対策	発災時における各職域内の連絡体制、各職域間の連絡体制	連絡体制などは災害関連計画、要綱等にに記載されておりますので、医療計画での個別具体的な記載はページ数に限りがありますので控えさせていただきます。
（８）新興感染症発生・まん延時における医療対策	なし	
（９）へき地保健医療対策	医薬品供給拠点となる薬局が小原村、旭町にはない。他町村区域に於いても薬局のない地区は複数あります。セルフメディケーションも含めて無薬局地区での平時からの医薬品供給体制も盛り込む必要がある。	表12-7-17に薬局数を追加し、現状に小原村、旭町に薬局の所在がない旨を追記いたします。医薬品供給体制等の課題は、全県下のへき地地区における共通の課題であり今後の方策の２項目目の「第６章へき地保健医療対策」参照」へ集約したいと思います。
	豊田市の無医村・無歯科医村の歯科往診等の体制及び機材が必要と考える。	医療体制等の課題は、全県下のへき地地区における共通の課題であり今後の方策の２項目目の「第６章へき地保健医療対策」参照」へ集約したいと思います。
（１０）周産期医療対策	なし	
（１１）小児医療対策	「２保健・医療施設」に関連して、医療的ケア児に対する医療提供体制、診療所における中等度以下の成人障がい者の医療提供体制	御意見いただいた内容は障害福祉施策と大きく関わってきますので、福祉局に内容を伝えることとし、今回の医療計画の中間見直しとしての修正は控えさせていただきます。
	トヨタ記念病院には、骨折等、整形外科疾患、ネフローゼ等の腎疾患、Ｉ型糖尿病等の長期入院の小中学生のために院内学級を設けられています。に変更してほしい。	御意見のとおり、修正いたします。
（１２）在宅医療対策	訪問歯科診療を行う歯科数の伸び悩み 豊田市とみよし市で約200名の歯科医師がいるが、往診対応の歯科医師が少ない。	在宅歯科医療に対応できる歯科診療所の増加は全県下での課題となっております。 県としてましては、歯科診療所に対して、在宅歯科診療に必要な医療機器等の整備に係る経費の助成等の財政的支援などに努めていきます（愛知県地域保健医療計画第９章在宅医療対策）。 また、圏域計画に従い啓発を進めてまいります。
	○「豊田加茂ウェルビーイングネットワーク」の名称変更 また、豊田加茂医師会が主体となり、豊田市・みよし市の医療・介護・福祉・行政の関係者による「豊田みよしウェルビーイングネットワーク」を立ち上げ、誰もが病気や障がいがあっても自分らしく生き、尊厳をもって人生を全うできる地域づくりを目指して、多職種連携の推進に取り組んでいます。	御意見のとおり、修正いたします。